

社会福祉法人 上越老人福祉協会

令和2年度 事業実施状況報告

役員会資料

(概要版)

社会福祉法人 上越老人福祉協会

目 次

1. 全体評価	P 1
(1) 収支状況（前年比）の状況	
(2) 法人の体制変更に伴う取組状況、サービス体制の見直し	
(3) 新型コロナウイルス感染対策及び対応状況	
2. 法人管理部	P 4
(1) 総務部	
(2) 事業部	
(3) 情報部	
(4) 財務部	
3. プロジェクト	P 7
(1) 介護保険対策プロジェクト	
(2) 外国人就労プロジェクト	
(3) 食事プロジェクト	
4. 各事業の報告	
(1) いなほ園グループ	P 9
(2) 新光園グループ	1 1
(3) 高田の郷グループ	1 3

添付（資料集）

1. 全体評価

(1) 収支状況（前年比）の状況

① 法人全体の状況

法人経営改善計画の成果により、当期資金収支差額 80,590 千円となり 3 期連続のプラス決算となった。

事業活動計算書では、収益は 2,381,310 千円、前年比 3.36%増（処遇改善加算の区分変更、特定処遇改善加算の算定による収益を含む）、また費用は 2,336,913 千円となりサービス活動収支差額 44,397 千円のプラス決算であった。

主な要因は、主幹事業の 3 特養と前年度に苦戦した小規模事業がいずれも高利用率により収入が確保できたことと、多くの事業所において平均要介護度が上昇したことにより利用単価が上がったため。

半面マイナス要因としては、コロナウイルス関連により通所事業利用者の利用制限による減収 3,662 千円と雪害によって 1 週間程度の休業を余儀なくされたことによる減収 5,136 千円が大きな影響を与えた。

費用については、処遇改善・特定処遇改善加算の収入額の増加及び支給方法の変更により、人件費は大幅に増加した。

また、事業費、事務費も電気料・ガス料の減少の他、コロナウイルス感染予防のため研修・研究費、保守料の減少等あった一方、コロナ対策支援金による消耗品備品の整備、修繕費等によって費用は増加した。

結果、当期活動増減差額は 45,365 千円となり前年比 33,219 千円の減少となった。

※参考	（資金収支決算状況）	H 2 9 年度	△35,065 千円
		H 3 0 年度	59,656 千円
		R 1 年度	45,599 千円
		R 2 年度	80,590 千円

② 各事業の状況

3 特養はいずれも高利用率を維持し、サービス活動増減差額は以下の通り好結果となった。老健は利用率が目標比△0.7%と介護度の低下はあったが、加算算定により一定の収入は確保した。しかし修繕費や除雪費などの費用増が影響し収益は前年より大きく下がった。

施設名	利用率	介護度の差異（前年）	サービス活動差額
いなほ園	98.4%	4.1 (4.0)	32,945 千円
新光園	98.8%	4.0 (4.0)	16,004 千円
みずほ園	98.8%	4.3 (4.2)	6,643 千円
高田の郷	96.5%	2.8 (2.9)	9,320 千円

いなほ園通所は経営改善の成果により利用率及び収益を伸ばした。また、新光園通所、高田の郷通りハにおいては終了者が新規利用者を上回り、利用率と収益を下げることとなった。さらに1月の雪害により3事業とも1週間程度休業したため、収支差額にマイナスの影響を与えた。なお、高田の郷通りハはコロナ偽陽性による風評被害の影響も併せて影響した。

施設名	利用率	介護度の差異（前年）	サービス活動差額
いなほ園通所	77.2%	2.0 (2.1)	7,589 千円
新光園通所	85.1%	1.9 (2.0)	5,534 千円
高田の郷	71.7%	1.8 (1.9)	△4,795 千円

前年度に苦戦した小規模事業のうち、4GHは高利用率の維持と食材費用の見直しにより収益を大きく伸ばすも、敬寿は人件費の増加によりサービス活動増減差額は大きくマイナスとなった。

小規模多機能型居宅介護は2事業とも高利用率を維持し収益は増加した。本町楽寿はサービス活動差額において前年比4,410千円改善、光寿は4月に契約定員を4名増やしたが、早い段階で満床となりサービス活動差額は前年比4,201千円改善、大きく収益を伸ばした。

施設名	利用率	介護度の差異（前年）	サービス活動差額
敬 寿	99.1%	2.8 (2.6)	△10,719 千円
なかよし寿の家	99.1%	2.6 (2.1)	△1,213 千円
宝寿の家	99.0%	1.7 (2.2)	△662 千円
百寿の家	99.4%	2.5 (2.2)	1,994 千円
本町楽寿の家	97.9%	2.1 (2.1)	4,803 千円
光寿の家	92.6%	2.0 (2.2)	△2,141 千円

その他、居宅介護支援事業所は職員の増員に伴い管理給付件数を500件増加、予防件数も150件増となり収支差額（前年比4,496千円）は大きく改善した。

（2）法人本部の新たな取組の状況とサービス体制の見直し

① 新人事制度の導入による雇用への好影響

新たな雇用区分の導入に伴い、33名の臨時職員を正規職員へ切替え「働き方改革関連法」による同一労働同一賃金につなげた。また、年度内の退職者9名に対し、新採用は介護職員(6名)、調理員(4名)、看護職員(2名)、歯科衛生士(1名)の計13名となり採用計画はほぼ達成した。

② 法人事務局員の異動と新たな取組み

法人の組織基盤を強化するため、新たに業務執行理事と事業管理者の合同ミーティングを開催、法人の収支状況や法人課題を共有した。(3回/年)

また、理事長と業務執行理事のヒヤリングの機会(1回/3か月)を設け、

法人状況の共有と事業全体に関する意思疎通を図った。

③ 特別養護老人ホームいなほ園の移転、改修事業の終了

1 1 月末に旧ショートステイ跡地の改修を終え、3 月末には備品の再配置と利用者の移動をおこなった。これに併せて、介護保険制度のねらいに合わせた重度化の対応と効率的なケアが提供できる体制を整備した。

④ 3プロジェクトの進捗状況

介護保険制度の改正、人材不足と外国人採用、大規模施設の食事提供方法等の法人課題を解決するため法人内にプロジェクトを組織し検討する。

介護保険制度改正については、報酬改定自体に大きな改正はなかったが、施設運営基準等の見直しが必要となり具体案の検討と各事業担当者へ指示をした。

外国人採用及び食事サービスの検討については、コロナ禍により限られた情報収集となったが現状課題の抽出をおこなうなど今後につながる機会となった。

(3) 新型コロナウイルス感染対策及び対応状況

① 法人主導の感染予防対応について

法人管理者及び看護師長による感染対策会議（計20回）により職員や利用者の感染予防策を検討、その後各事業所へ指示することで施設への流入を予防した。

また、8月末に高田の郷利用者1名が偽陽性の診断を受け、その3日後に診断の取り下げとなったが、通所事業所の休止や消毒作業、その後長期化する風評被害への対応など様々な対応が求められ職員一同苦慮した。

この間、法人としては本部事務局が中心となって高田の郷内に対策室を設置、理事長の指示を仰ぎながら連携して対応した。

② 利用者の面会等の対応

利用者家族の面会は、発生後より間もなく国通知およびその後の県通知を受け制限をした。この間に新たな面会方法として、オンラインによる面会などを開始、現在も好評のため継続している。

③ コロナウイルス感染症に伴う収益への影響

高田の郷利用者の偽陽性の発生に伴う損失額は1,700千円、その他の事業においての損失額は1,000千円程度となり、さらには新潟県からの委託事業の中止により5,100千円の減収となった。

半面、コロナウイルス関連の支給金額は設備や備品への支援金は総額で22,570千円あり、感染予防の徹底に活かした。

職員への慰労金支給は23,690千円となった。

2. 法人管理部

(1) 総務部

① 職員研修

コロナウイルス感染予防のため当初計画より2カ月遅れが生じたが、個人ワークや映像の視聴など小単位・短時間に変更した上で開始した。また、研修センターを中心に各研修の実施状況と職員個人単位の受講状況を管理するための仕組みを検討、次年度からの運用を目指す。

職員研修実施状況は以下の通り。

実施日	研修名	対象者	講師及び内容	参加者
6/1～ 7/23	基本サービス (感染症)	全職員	法人のマニュアルを読みこみ、各自で穴埋め問題に記載、個人ワーク形式。	358名
7/3～ 7/31	基本サービス (事故予防)	全職員	指針、マニュアルを読み、事故事例を基に各自アンケートに記載した。	333名
8/20～ 8/30	管理監督職研修	管理・監督	財務管理について資料を対象職員に配布、熟読、理解する。	44名
8/24～ 9/7	共通研修 (接遇)	法人全職	基本的な接遇について映像の視聴を行い、各自で今後の目標を立てた。	175名
9/16～ 9/29	人事考課説明会	全職員	新人事制度について新採用、一般職、監督職に分けて説明会を実施した。	360名
10/26	基本サービス (高齢者虐待)	全職員	指針の読み合わせをしてアンケートを取り、指針や身体拘束の現状確認と振り返りを行った。	368名
11/16 ～ 11/30	共通研修 (後輩指導)	全職員 (希望者)	部下のやる気を引き出すコミュニケーションについて動画を使用、個人ワークを行った。	72名
12/23 ～ 1/12	共通研修 (認知症)	全職員 (希望者)	ユマニチュードの考え方について動画を通じて学び、個人ワークに取り組んだ。	145名
1/15～ 2/上旬	基本サービス (摂食嚥下)	法人全職	摂食嚥下について「姿勢」の視点で学ぶ動画を視聴し、個人ワークに取り組んだ。	339名
2/22～ 3/7	基本サービス (看取り)	法人全職	緩和ケアに関する資料を読み、看取り期における心身の変化を学び、各職域での役割について考える機会とした。	332名

② 職場環境改善委員会

職員の腰痛検診・研修、ストレスチェック、ハラスメント研修等を実施した。

③ 求人活動

コロナウイルスの影響により学校訪問が出来ず、郵送のみの活動に留まった。それでも実習等を通して養成校とのやり取りを重ね、新規採用者に繋がった。

(2) 事業部

① 事業所代表者会議

法人各事業の連携強化とサービス標準化のため、事業所代表者会議を毎月開催した。また民法改正に伴い、全事業所において契約書の見直し、再作成した。極度額の設定や身元引受人等に関する表記及び役割などについて法人全体で再確認を行うと共に、滞納者への対応等について事業所側の対応を明確にした。

② 受託研修

事業部担当の研修は以下のとおり。

事業名	実施日	概要
新潟県認知症介護研修事業	R2年10月13日～12月4日	認知症介護実践者研修 23名
	R2年12月10日、12月11日	認知症対応型サービス事業管理者研修 25名
	R3年2月12日、13日	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 13名
喀痰吸引等研修事業	R2年7月15日～8月21日	感染症予防対応で中止
	R2年11月18日～12月22日	第2回目 21名

※ R2年度当初の計画は、新潟県の方針で9月末まで中止となり、10月以降で研修会開催時期を見直した。

(3) 情報部

① いなほシニアネット定着の取り組み

・各種情報ツールの活用状況 (令和2年4月～令和3年3月末日)

ツール	投稿・発行数	アクセス数	その他・特記
ブログ	174		動画機能が利用できる ブログへの乗換検討中
Twitter	226	フォロワー (38) いいね (約500) リツイート (18)	医療福祉系6件 無印良品移動販売への いいね(25) リツイート(4) 日々の献立定期投稿
クックパッド	13	延べ 92,955回 週平均 1,788回	つくれば8件 キーワード「高齢者向

		フォロワー (45)	き」「災害」「温まる」人気検索で1位
広報誌	年2回		全事業の取組がわかる誌面に変更予定

② 情報管理

- ・ I ネットメールシステム訓練を全事業において62回実施。特に雪害の際に効果があった。早期に全体化したい情報は職員の約80%に伝達共有できた。
- ・ 震度6弱地震が発生する夜間想定でのメール送信、代替管理者役の参集想定訓練を行った。体制整備が不十分であり、更なる訓練と検証を要する。
- ・ 令和3年度からの動画投稿に備え、事業活動に使用する個人情報同意書の取り直しを行った。

(4) 財務部

① 経営改善の取り組み継続

法人の大きな課題の一つである大規模修繕・設備更新への法人での備えとして、法人積立金について協議を行い、運用ルールを定めた。今後は資金計画を元に優先順位を決め、更新資金を計画的に積み立てる。

3. プロジェクト

(1) 介護保険対策プロジェクト

厚生労働省及び行政より発出される情報を基に、定期的に会議を開催し、項目毎に整理する中で以下の点について方向付けを行った。

① 運営基準上の適正化

運営基準上で新たに求められる項目について漏れ落ちの無いよう整理した。

② 各種加算算定

事業種別毎に変更のあった加算算定要件を確認すると共に、LIFE に対する取り組みを具体化した。このことについては令和3年度も引き続き検討が必要。

③ 届出及び案内文の作成

新潟県及び上越市への届出書類の作成、料金表、利用者及び家族向け文書の作成についてスケジュール化し、期限までに作成・届出を行った。

④ 目標収入額の試算

報酬改定が次年度の予算に与える影響を試算した。このことについては令和3年度中期まで追跡調査を行う予定としている。

(2) 外国人就労プロジェクト

年間計画及び次年度に向けた受け入れの方向性を確認した。プロジェクト委員会を中心として、外国人就労に関する3つの制度について情報収集と説明会等の映像を視聴しながら勉強会を実施した。

実施日	制度	方法	配信元
5月12日	特定技能制度	WEB説明会	登録支援機関
6月12日	経済連携協定	HP説明動画	国際厚生事業団
8月3日	技能実習	動画	

他に、下期には外国人留学生を受け入れている（在留資格 介護）養成校からの説明を聞き在留資格（介護）への理解を深めた。

受け入れ施設への視察は感染症防止のために開催できなかったが、次年度はオンライン等を使って視察を計画し、運用制度を決定、スケジュールを立てて受け入れに向けて準備を進めたい。

(3) 食事サービス検討プロジェクト

① 新たな調理システム導入への取組と課題

- ・ニュークックチルについては、業者のプレゼンを通じて理解を深めた。将来的な導入は HACCP【ハサップ】の視点からも必要不可欠である。高額な費用が発生するため削減できる項目を整理し取り組みを継続していく。
- ・ニュークックチルに対応した嚥下調整剤を取り寄せ検証を行った。作業効率

は飛躍的に改善するが高単価がネックとなっている。

② 働き方調査と早番業務改革

- ・若年層（35歳以下）の調理員は25%を占め、今後10年間で毎年2.8名程度の欠員が発生し得る試算を作成。更なる確保対策が必要。
- ・少数人員でも早番業務改善に的確に取り組むことにより、現サービスの質が維持できることを実証した。

4. 各事業（グループ）の報告

(1) いなほ園グループ事業実施状況

特 養	<p>(利用率) 98.4% (前年) 98.1% (前年比 0.3%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院者数は前年比で減少し(48件→45件)、入院延べ日数も減少(920日→845日)した。更に空床ショートステイを積極的に活用(290日→316日)したことにより高利用率を確保した。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 32,945 千円(前年比 1,461 千円) ・利用率と要介護度の上昇及び事務費の削減(△2,796 千円)により前年より改善した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年をかけて生活環境の整備とサービス体制の検討を計画通り行い、特養の一部を旧ショートステイ跡地に移転した。 ・介護負担軽減のため、前年に続き介護ロボット(見守りセンサー)を導入した。 ・面会制限に伴い開始したオンライン面会は、延べ159件となり利用者、家族から好評を得た。
通 所	<p>(利用率) 77.2% (前年) 75.4% (前年比 1.8%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者は38名(前年比12名増)。毎月6名の新規利用者を目標にして取り組んだ結果、38名の利用者を確保した。9月以降は目標を達成していたが、1月の雪害の影響により年間利用率は77.2%となった。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 7,589 千円(前年比 6,374 千円) ・人員体制の見直しをおこない人件費の削減(△2,450 千円)につなげた。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により外出行事を自粛、代替えとして、内部行事や活動、散髪サービスの導入等積極的にサービスの充実を図った。
み の り の 家	<p>(利用率) 100% (前年) 100%</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居2件、退居3件、待機者20名と年間通じて安定していた。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 3,825 千円(前年比 2,539 千円) <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体機能の低下や予防、引きこもりによる弊害を軽減するため、専門職の協力を得て毎週園内行事や活動、レクリエーション等を企画し実施。
	<p>【みずほ園】(利用率) 98.8% (前年) 98.5% (前年比 0.3%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退所6件、入院者数5件あったが、空床期間の短縮化に努めた結果、

米岡の郷	<p>前年比 0.3%上昇した。</p> <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 6,643 千円（前年比△2,636 千円） ・利用率は上昇したが、人員配置の変更により人件費が増えた。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価（介護福祉士会）を受審した結果、高評価だった。今後は受審評価を活かしサービスの質の向上に取り組んでいく。 <p>【光寿の家】（利用率）92.6%（前年）93.9%（前年比△1.3%）</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月より契約者数を25名から29名に変更、8月には90%台に達しその後も利用率を維持した。年間92.6%となり目標を上回ることが出来た。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額△2,141 千円（前年比 4,201 千円） ・契約者数の増加、利用率の上昇により前年比で大幅に改善した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により地域活動に制限があったが、諏訪地区や公民館に広報を配布、敷地花壇の植栽など交流に努めた。
なかよし寿の家	<p>（利用率）99.1%（前年）98.3%（前年比 0.8%）</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月まで100%、その後入院により影響が出た月もあったが、空床を最小限に抑え99.1%の高利用率を維持した。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額△1,213 千円（前年比△2,105 千円） ・利用率は上昇したが、給食費や人件費の増（5,463 千円）により昨年より低下した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の地域密着部会の活動において定期的な情報共有を行い、居宅・包括等に情報を発信した結果、待機者が50名と大幅に増加した。
宝寿の家	<p>（利用率）99.0%（前年）97.7%（前年比 1.3%）</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月まで100%で推移したが、その後9月、11月、12月に退所が発生し計31日間の空床となった。それでも年間99.0%と目標を達成した。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額△662 千円（昨年度比 3,160 千円） ・利用率の上昇と職員減により昨年より改善した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を平成町町内、ご家族に向け発行している。ご家族にはご利用者の状況も併せてお伝えし、連携を意識して情報発信をした。

(2) 新光園グループ事業実施状況

<p>特 養</p>	<p>(利用率) 98.8% (前年) 98.5% (前年比 0.3%)</p> <p>① 利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季において入院、退所が頻回に発生。入院による空床利用者の確保が進まなかったが、法人居宅の協力を得て確保し目標値を達成できた。 ・平均要介護度は前年同様 4.0 で、介護 4 以上の割合は 70%であった。 <p>② 収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 16,004 千円 (前年比△5,117 千円)。 ・修繕費は経年劣化による改修で 1,052 千円増加。 ・働き方改革と新型コロナウイルス感染予防に視点をあてた業務改善に取り組んだ結果、超過勤務は 570 時間 (約 1,000 千円) 削減し成果を上げた。 <p>③ サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン登録者：27 名、面会専用ボックス作成と面会制限対処法に工夫して取り組んだ。一月当たり対応件数は多い月で 30 件と期待に応えた。家族への満足度調査の回答結果にも良い評価をいただいた。
<p>通 所</p>	<p>(利用率) 85.1% (前年) 92.7% (前年比△7.6%)</p> <p>① 利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規 26 名、終了 31 名。予約に対する平均キャンセル率 8.6%。主要因は雪害による営業休止 (7 日分) 及び新型コロナウイルス関連での利用休止が延べ 38 名、122 日分に及んだため。 ・平均要介護度 1.9 (前年 2.0) <p>② 収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 5,534 千円 (前年比△9,422 千円)。利用率減に伴う減収分は 5,928 千円。経年劣化による修繕費は 576 千円増加。 ・機能訓練に係る加算はほぼ 100%算定できた。 <p>③ サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでケースの無い居宅介護支援事業所への営業を徹底し新規 5 件と実績をあげた。 ・サービス担当者会議に療法士が参加し自宅環境確認と助言を行った。家族・ケアマネからの信頼と安心を得る機会となった。
<p>G H 百 寿</p>	<p>(利用率) 99.4% (前年) 99.4% (前年同様)</p> <p>① 利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退所各 3 件、入院 1 件と年間通じて安定した。 ・平均要介護度 2.5 (前年度 2.2) <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 1,994 千円 (前年比△2,813 千円) ・給食費が食材配達サービス導入で 1,009 千円増加した。

	<p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪害に対する災害救助法が適用され自衛隊による雪下ろしを実施した。 ・年間を通じて職員の体調不良が頻回で長期にわたることもあったが、業務の簡素化、効率化に努め対応した。
<p>ケ ア ハ ウ ス 上 越</p>	<p>(利用率) 99.3% (前年) 99.2% (前年比 0.1%)</p> <p>① 利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退居各 5 名。入所判定会議後の事前面接で受入れ困難な状況が発覚、あらためて判定会議をやり直し入所までの期間が延びるケースがあった。判定会議の精度をあげるため、軽費部会を通じて対策に取り組む。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額△2,639 千円 (前年比△1,582 千円) ・宿直を派遣に切り替えたことにより業務委託費が 5,081 千円増加した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事委託業者と連携を図り、食事時間の 2 部制や間仕切りの設置など新型コロナウイルス予防にいち早く対応した。

(3) 高田の郷グループ事業実施状況

<p>入所 短期 含む</p>	<p>(利用率) 96.5% (前年) 97.2% (前年比△0.7%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突発的な入退所多く、コロナ禍で通常より空床期間が長く発生した。 ・入院が多く発生し、入退所数はそれぞれ前年比 40 件程度増加した。 ・必要な回転率は確保したが、軽度の利用者の回転率が悪い傾向にある。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 9,320 千円 (前年比△17,087 千円) ・加算算定により利用率と比較して収入の減少は見られなかった。 ・人件費、修繕費、消耗品費、除雪費が大幅に増加、医薬品費が減少した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面会や外出制限によるストレス解消、気分転換を目的に屋内活動の充実を図った。活動の様子は SNS を通じて適宜ご家族等に情報発信した。 ・オンライン登録者：32 名。繰り返し利用される家族も多かった。 ・コロナ偽陽性（後に取り下げ）の対応を受け BCP を作成。感染予防対策が業務内でほぼ定着した。加えて職員意識の向上に繋がった。
<p>通所 り ハ</p>	<p>(利用率) 71.7% (前年) 81.2% (前年比△9.5%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者 33 名 (前年 31 名)、終了者 42 名 (前年 31 名)。 ・併設老健の感染症対応に伴うサービス制限が複数日に渡りキャンセルが多く発生した。雪害による 7 日間の休業も利用率に大きく影響した。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額△4,795 千円 (前年比△13,880 千円) ・利用率減に伴う減収により、活動増減差額に大きな影響があった。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCP を基にサービス提供エリアを見直し、感染症リスクの軽減を図った。 ・在宅生活を視野に、日常生活動作に落とし込んだリハビリを実施した。
<p>敬 寿</p>	<p>(利用率) 99.1% (前年) 97.6% (前年比 1.5%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退所 2 件ずつ。退所発生時に間を置かず入所ができ高利用率を維持。 ・高齢化で重度者が多く、平均要介護度は中期では 3.0 まで上昇した。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額△10,719 千円 (前年比△3,918 千円) ・高利用率と介護度上昇で収入は増加。異動等により人件費が大幅に増加。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化と重度化が顕著に見られ、変更申請も数多くあった。 ・施設内で行える楽しみの機会・時間を多く設定し提供することができた。 ・食材料費に留意しながらタンパク質量や栄養バランスを意識した。

本町楽寿	<p>(利用率) 97.9% (前年) 91.5% (前年比 6.4%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて新規利用者の情報収集を積極的に行い利用率が安定した。 ・在宅サービス未利用者との契約が多く、平均要介護度は低めであった。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 4,803 千円 (前年比 4,410 千円) ・利用率上昇に伴い収入が大幅に増加。活動増減差額も大幅に改善した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態・状況に合わせて訪問と泊まりを柔軟に調整し、夜間の訪問依頼にも臨機応変に対応したことで、ご家族の安心に繋がった。
千寿園	<p>(利用率) 98.9% (前年) 98.5% (前年比 0.4%)</p> <p>①利用率状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期は安定していたが、後期はスムーズな受け入れができなかった。 ・共用トイレ等の施設設備が女性申し込み者の獲得に繋がらず、バリアフリーでないことも待機者管理に影響している。入居 5 名、退居 7 名。 <p>②収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 153 千円 (前年比△486 千円) ・収入は受託料の減額により減少した。支出は給食費が増加した。 <p>③サービス実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的機能や認知機能の低下に対する予防策 (フレイル対策) を継続。 ・外出機会が減少し、心身共に機能低下が顕著に表れている。
居宅	<p>①【給付管理数】 1,435 件 (前年) 929 件</p> <p>②【予防件数】 407 件 (前年) 257 件</p> <p>③収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 406 千円 (前年比 4,496 千円) ・管理件数が上昇し収入が大幅に増加。1 名増員により人件費が増加した。 <p>④実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善計画に沿って管理件数を増やし目標達成した。新規契約者 68 名。
地域包括	<p>①実態把握 302 件 ②予防給付 825 件(内 委託 552 件)</p> <p>③総合事業 661 件(内 委託 228 件)</p> <p>④収支差額状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動増減差額 3,580 千円 (前年比 1,186 千円) ・1 名分の人件費増あるが、受託内容の変更により活動増減差額が増加。 <p>⑤実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者等支援、生活困窮者支援業務が新たに加わった。関係機関と協力しながら必要な制度やサービスに繋げることができた。 ・地域包括ケアシステムの推進に向け、地域ケア推進会議を実施した。

(資料集)

【利用率】

①入所系

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
いなほ園	97.9	97.9	97.9	98.6	98.2	98.4	99.0	99.1	98.0	97.6	99.1	99.1	98.4	98.2
新光園	99.8	99.5	99.6	98.8	98.7	98.8	99.8	98.5	98.7	97.1	97.5	98.2	98.8	98.5
高田の郷	96.8	97.8	94.5	95.2	97.0	96.9	96.5	96.4	98.2	96.4	95.8	96.6	96.5	97.3
みずほ園	98.4	99.6	98.9	96.8	99.8	98.9	99.5	99.6	95.4	99.1	100	100	98.8	98.5

②在宅系(デイサービス・通所リハビリ)

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
いなほ園	72.4	72.0	79.2	77.6	77.9	81.2	83.1	85.6	82.0	54.7	80.1	80.2	77.2	81.0
新光園	90.8	87.5	91.0	88.5	87.4	89.0	87.2	84.9	84.9	59.3	84.1	86.8	85.1	90.0
高田の郷	79.0	78.0	76.8	74.9	72.3	64.6	74.0	70.0	68.5	46.8	74.5	81.4	71.7	82.0

③軽費・ケアハウス

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
千寿園	100	100	100	100	99.2	100	99.8	98.6	96.9	97.8	98.0	96.5	98.9	100
ケア上越	99.2	100	100	99.9	100	100	100	98.6	100	98.7	95.4	99.5	99.3	100
みのりの家	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

④グループホーム

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
敬寿	100	100	100	100	100	100	100	94.0	98.2	100	100	96.8	99.1	99.0
なかよし寿	100	100	100	100	99.4	100	99.3	96.6	100	100	97.4	96.8	99.1	99.0
宝寿	100	100	100	100	100	97.4	100	97.4	93.9	100	100	100	99.0	99.0
百寿	100	100	99.8	99.5	100	100	100	100	100	99.5	98.0	95.5	99.4	99.0

⑤小規模多機能型居宅介護

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
光寿	86.3	86.7	83.2	83.6	90.9	95.3	100	99.8	99.2	96.4	95.4	94.5	92.6	90.0
本町楽寿	94.2	96.6	97.2	99.6	100	100	98.1	89.6	94.9	100	98.0	100	97.9	90.0

⑥居宅介護支援事業(介護給付管理数)

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
いなほ園	85	96	98	94	100	127	130	138	146	133	144	143		105

【要介護状況】

3月末日現在

事業所	要支援1.2(総合事業含む)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均	前年度
いなほ園		4	3	22	53	52	4.1	4.0
新光園		2	6	15	20	36	4.0	4.0
高田の郷		10	25	32	19	6	2.8	2.9
みずほ園		0	1	1	17	10	4.3	4.2
いなほDS	12	25	23	17	7	5	2.0	2.1
新光園DS	18	24	27	12	11	2	1.9	2.0
通所リハビリ	23	16	23	20	8	0	1.8	1.9
千寿園	14	5	5	0	0	0		
CH上越	5	13	7	2	1	0		
みのりの家	2	4	2	1	0	0		
敬寿	0	0	3	5	1	0	2.8	2.6
なかよし寿	0	5	1	3	0	0	2.6	2.1
宝寿	0	5	1	3	0	0	1.7	2.2
百寿	0	3	6	6	3	0	2.5	2.2
光寿	6	8	8	3	2	1	2.0	2.2
本町楽寿	3	7	11	6	2	0	2.1	2.1

【リスク管理】

①事故発生状況

	いなほ園	新光園	高田の郷	みずほ園	いなほDS	新光園DS	高田の郷DC	千寿園	CH上越	みのりの家	敬寿	なかよし寿	宝寿	百寿	本町楽寿	光寿
死亡	0			1												
入院	1	2	3	2				1	1	3		1				1
受診	13	8	10			3		3			3	3	5	2	3	

②苦情受け付け状況

	いなほ園	新光園	高田の郷	みずほ園	いなほDS	新光園DS	高田の郷DC	千寿園	CH上越	みのりの家	敬寿	なかよし寿	宝寿	百寿	本町楽寿	光寿
ケア内容				1												
職員対応		1	1						1							1
利用料																
制度																
その他								1								